

# VG 槻輪だより

会報 第214号  
発行日 令和4年7月1日  
発行・編集 VG 槻輪  
代表者 大岡成一  
<http://web1.ibj.co.jp/~kirin>

## わがまち紹介 活動報告

自然の植物を  
抽象化で取り入れ  
幾何学的な模様を  
アレンジした  
自然が主役の  
感動的空間

6月14日に大阪

地方は梅雨入りしま  
した。その翌日の15  
日(水)は、朝方まで  
雨でしたが、芦屋川  
駅集合時間には曇り  
空となりました。  
芦屋川駅を下車し  
て、山手を見ますと  
山手町の高級住宅地  
が一望できます。



芦屋川東の高級住宅地

芦屋川を上流に約  
200米程進み開森人  
道橋を渡り山手がラ  
イト坂と言う登り道  
を約200米登ります  
とヨドコウ迎賓館の  
門に着きました。

芦屋市山手町  
山手町は、芦屋の山  
の手にある緑豊かな  
高級住宅街です。三  
条町・東山町とも  
に大正初期から開発  
が始まった地域で丘  
陵地にあり、大阪湾  
を望める眺望のよい  
エリアとして愛され  
ています。



ライト坂は連続した登り坂

この地域が正式に  
山手町となったのは、  
昭和9年(1934)に開  
校した村山手小学校  
から取られたと言わ  
れています。

高級住宅地で山手  
町に迎賓館などが建  
てられるようになり  
ました。そのため町  
のブランド力が上が  
り、山手町を高級住  
宅地と呼ばれるよう  
になりました。

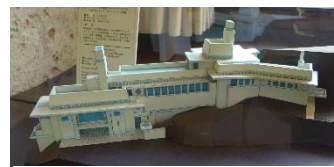
ヨドコウ迎賓館  
迎賓館の門を進み  
玄関の車寄で、館長の  
岩井忠之さんが迎え  
て下さいました。  
1階車寄で検温な  
どすませ、ベランダで  
館長からヨドコウ迎  
賓館の設計時点から  
現在までの歴史や建  
物の特徴など丁寧な  
説明して頂き、入館し  
ました。

入館後も要所・要所  
の説明をして頂きま  
した。  
ヨドコウ迎賓館は、  
山邑家別邸として大  
正7年(1918)にアメ  
リカが生んだ近代建  
築の巨匠、フランク・  
ロイド・ライトによっ  
て設計されました。



1階展望の良いベランダで  
館長の説明を聞く会員達

ライトがアメリカ  
に帰国後は、彼の弟子  
である遠藤新と南信  
が引き継ぎ、大正13



山の斜面を取り入れた  
階段状の大谷石を使った  
ヨドコウ迎賓館

年(1924)に竣工。昭和  
22年(1947)に株式会  
社淀川製鋼所が社長  
邸として建物を購入  
されました。

昭和49年(1974)に  
は、大正年間の建物と  
して、また鉄筋コンク  
リート造の住宅建築  
として初めて、国の重  
要文化財に指定され  
ました。平成元年  
(1989)より「ヨドコウ  
迎賓館」として一般公  
開しています。  
日本では旧帝国ホ  
テルの設計者として  
知られているライト  
ですが、建築当初の姿  
をほぼ完全に残すラ  
イトの住宅建築は、日  
本にはこのヨドコウ  
迎賓館のみです。



4階食堂のバルコニーから  
大阪港を眺望

建物は緑に囲まれた  
小高い丘の上に建ち、  
屋上のバルコニーか  
らは六甲の山並み、市  
街地や大阪湾を眺望  
することができます。



2階応接室 高い二重天井で  
通風・採光を考えた窓が続く

幾何学的な彫刻を施  
した大谷石や、マホガ  
ニーの複雑な木組み  
装飾、植物の葉をモチ  
ーフとした飾り銅板  
など、自然と融和する  
ライトの建築思想を  
随所から感じられま  
す。

2022年7月 わがまち紹介  
弥生時代の生活や対外交流の様子を学ぶ  
大阪府立弥生文化博物館見学

月 日：2022年7月14日(木)  
集合場所：信太山駅 (JR 阪和線) 改札口 集合

訪問先：大阪府立弥生文化博物館・史蹟池上曾根遺跡  
その他：詳細は別途配布資料を参照下さい。

2022年8月 わがまち紹介  
瀬田の唐橋を征するものは天下を征する  
大津市科学館・膳所城見学

月 日：2022年8月4日(木)

集合場所：JR 膳所駅 改札口 集合

訪問先：大津市科学館・膳所城見学  
その他：詳細は別途配布資料を参照下さい。